

専門分野

○精神看護学

- ・精神看護学概論
- ・精神看護学援助論
- ・精神看護学援助論演習

科目区分	専門分野	教育内容	精神看護学
授業科目	精神看護学概論	開講年次	2年次後期
開講年次	2年次後期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	☑ ・ 無
<p>目的：精神看護の特徴と基本概念を理解する。</p> <p>目標：1 こころの健康と精神看護の目的を述べることができる。 2 こころの健康を守る看護を述べることできる。 3 精神保健医療福祉の歴史の変遷および社会における精神障害について精神看護と関連づけ、述べる ことができる。 4 精神保健医療福祉に関する社会資源を説明できる。 5 精神保健医療福祉における看護の役割を述べることできる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 こころの健康とは 1)精神の健康とは 2)精神の健康における危機 3)精神障害のとらえ方	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:精神の健康・危機・障害について講義内容をもとに自分の考えをまとめる。	
2	2 日本における精神看護の課題 精神看護の目的(演習含む)	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:既習の学習と演習から 精神看護の目的について自分の考えをまとめる	
3	3 こころの健康を守るための予防的概念に基づいた看護の方法 1)一次予防 2)二次予防 3)三次予防	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:文献やネット情報から看護の方法について理解を深める。	
4	4 心身の健康に及ぼすストレス反応 1)生体としてのストレス反応 2)ストレスの社会文化的側面 3)精神保健における危機 4)ストレスへの対処法	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:自身のストレス体験とその対処について、講義内容を踏まえ振り返る。	
5	5 心的外傷(トラウマ)と回復 1)トラウマとサバイバーの心理 2)日常生活のなかのトラウマ 3)マールトリートメントの成長・発達に及ぼす影響 4)トラウマによるストレス反応の特徴 5)トラウマと問題行動 6)回復への道	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。	
6	7)レジリエンス 8)トラウマインフォームドケア 6 精神障害と治療の歴史の変遷	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:トラウマからの回復における看護の役割を考える。 準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:歴史の変遷から諸外国の精神障害者のおかれている状況を文献やネットなどから理解を深める。	
7	7 日本における精神医学・精神医療の変遷 8 精神障害と法制度	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:歴史の変遷から現在の精神科医療や看護について、日本の課題をまとめる。 準備:テキスト・配付資料を読む。	

	1)精神看護における法律 (1)精神障害者にとっての法律 (2)精神科看護師にとっての法律 (3)法律を活用し果たす看護師・医療者の役割	復習:テキスト・配付資料を読む。
8	2)精神障害者の保健医療福祉制度の基盤となる法律 (1)精神保健福祉法(概要) (2)障害者総合支援法 3)精神科領域で必要な法律と制度 (1)権利擁護に関する法律と制度 (2)医療を受けるための法律と制度 (3)生活を支えるための法律と制度	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。
9	(4)情報を守るための法律と制度 (5)個別の課題に対応した法律 9 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム 10 地域精神保健福祉サービス 1)専門職による支援:デイケア・訪問看護・ACT 2)生活支援 3)就労支援 4)当事者組織・支援組織	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。 文献やネット情報から様々なサービスについて理解を深める。
10 (1h)	11 精神保健医療福祉における看護師の役割 (演習含む)	準備:既習の学習から精神保健医療福祉における看護師の役割についてまとめる(個人ワーク) 復習:事前準備内容と演習をとおして学んだ看護師の役割をまとめる(グループワーク)
	試験	
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	筆記試験 レポート ①講義内容を参考に精神の健康について自身の考えを述べる。 ②歴史的変遷から現在の精神科医療や看護について、日本の課題を述べる。 ③精神看護における看護師の役割を述べる。 ・個人ワーク ・グループワーク *レポート作成には、文献を参考にすること	
テキスト	医学書院 精神看護学(1) 精神看護の基礎	
参考文献	講義の中で提示する アメリカの「ケネディ教書」との関連で、1970年代の精神科病院を描いた映画「カッコーの巣の上で」を是非見て欲しい。	
履修上の留意事項	概論という科目なので、講義や演習をとおして、自分が精神看護についてどう考え行動するかを考えながら学習すること。	
備考		

科目区分	専門分野	教育内容	精神看護学
授業科目	精神看護学援助論	単位数(時間)	2単位(30時間)
開講年次	3年次前期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>目的:精神の健康課題を抱える人とその家族を支援するための方法を理解する。</p> <p>目標: 1 精神看護における患者—看護師関係について説明できる。 2 精神に障害のある患者の発症から回復 過程、地域での生活、再発防止における看護の方法を説明できる。 3 精神に障害のある患者の身体面での看護の方法を説明できる。 4 精神科におけるリスクマネジメント(セイフティマネジメント)とその方法を説明できる。 5 リエゾン精神看護について説明できる。 6 精神の健康課題を抱える人とその家族に必要な看護を記述できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 患者—看護師関係の構築 1)ケアの前提 2)ケアの原則 3)ケアの方法 4)患者 看護師関係における感情体験	準備:テキスト(特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。	
2	2 回復の支援 1) 回復の意味 2) リカバリーのビジョン 3) 治療の場におけるリカバリーの試みと看護 4) リカバリーを促す環境 5) リカバリーを促す方法としてのグループ 3 回復のためのプログラム 1) 疾病管理とリカバリー 2) ソーシャルスキルトレーニング(SST) 3) 認知行動療法(CBT) 4) マインドフルネス認知療法 4 リカバリーのプロセス	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。	
3	5 地域におけるケアと支援 1) 器としての地域 2) 地域における生活支援の方法 6 地域におけるケアの方法と実際 1) ケアマネジメント 2) アウトリーチと多職種連携 3) 退院支援 4) 再発の危機回避(精神科訪問看護を含む) 5) 家族支援	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 精神看護学概論第 7 回目の学習を予習する。 復習:テキスト・配付資料を読む	
4	7 入院治療の意味 1) 精神科を受診するということ	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。	
5	2)入院という体験 3)治療の器としての病院・病棟	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 精神保健福祉法の入院形態の予習 復習:テキスト・配付資料を読む	
6	4) 入院中の観察とアセスメント 5) ケアの方向性の明確化 6) 退院に向けての支援と実際	準備:テキスト 特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。	

7	8 精神科における身体のケア 1) 精神療法としての身体ケア 2) 身体化する患者のケア 3)精神科におけるフィジカルアセスメント	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。
8	9 精神科における身体のケアの実際 1) 急性期における身体のケア 2) 回復期における身体のケア 3) 慢性期における身体のケア 4) 日常生活における身体のケア 5) 睡眠のケア	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。
9	10 精神科の治療に伴う身体のケア 1) 薬物療法を受ける患者のケア 2) 電気けいれん療法を受ける患者のケア 11 身体合併症のアセスメントとケア 12 精神科における終末期ケア	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。
10	13 リスクマネジメントの考え方と方法 1) 安全の条件 2) リスクマネジメントと行動制限 3) 緊急事態への対応 4) 緊急事態とスタッフの支援	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 行動制限と行動制限最小化について予習する。 復習:テキスト・配付資料を読む。
11	13 医療の場におけるメンタルヘルスと看護 1) 身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス 2) リエゾン精神看護 3) リエゾナーズの活動の実施 4) 看護師のメンタルヘルスへの支援	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。
12	14 精神看護の実際 1) 統合失調症患者の看護 2) 気分障害患者の看護(うつ・双極性障害)	準備:テキスト特に事例・配付資料を読む。 復習:テキスト・配付資料を読む。
13	3) アルコール依存症患者の看護 4) 摂食障害患者の看護 5) 神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害患者の看護	準備:疾病・障害とその治療・看護について既習の学習内容・テキスト・配付資料を参考に予習する。 復習:文献・ネット等検索し、理解を深める。
14	6) パーソナリティ障害・発達障害の看護 事例検討会(グループワーク 45 分)	準備:13 回目と同じ事例検討のための個人ワークをする。 復習:13 回目と同じグループワークの結果と個人ワークを照らし追加修正する。
15 (1h)	事例検討発表(45 分)	準備:事例検討の課題に沿って発表の準備をする。 復習:学びを整理し、精神看護学援助論演習に備える。
	試験	
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	筆記試験 事例検討個人ワーク課題レポート 事例検討グループワーク課題レポート	
テキスト	医学書院 精神看護学(2) 精神看護の展開	
参考文献	講義の中で提示する 事例検討までに、映画「ビューティフルマインド」は必ず視聴すること。 その他、対象理解に活かせる対象理解に活かせる映画・ドラマ *恋愛小説家(強迫神経症)	

	<ul style="list-style-type: none"> *普通の人々(精神障害や治療をどう考えるか) *17才のカルテ(境界性パーソナリティ障害) *レインマン(アスペルガー症候群) *路上のソリスト(統合失調症) *私の中の消しゴム(若年性認知症) *今日もあなたに太陽を～精神科ナースのダイアリー～
履修上の 留意事項	<p>精神看護学概論の講義内容を想起しながら、学習すること。 精神看護で何が大切かを常に考えながら学習すること。</p>
備考	<p>事例検討について、事例の提示は講義 2 週間前に提示する。</p>

科目区分	専門分野	教育内容	精神看護学
授業科目	精神看護学援助論演習	単位数(時間)	1単位(15時間)
開講年次	3年次後期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有 ・ 無
<p>目的: 精神の健康問題をもつ対象の特徴を理解し、精神障がい者とその家族への看護を実践するための基礎的知識と技術を習得できる。</p> <p>目標: 1 精神の健康問題を持つ対象と治療的対人関係構築のための基本技術を理解できる。 2 事例を用いた看護過程の展開により、精神障害をもつ対象のアセスメントができ、看護が理解できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	精神障害をもつ対象の理解 (書籍を読んだ感想と看護師の役割をグループワーク)	準備:	
2	精神看護におけるアセスメントの特徴 1) 症状や治療がもたらす生活への影響 2) 精神疾患という病のアセスメントに必要な知識 ・セルフケア理論(オレム) ・対人関係論(ペプロウ) ・人間対人間の看護(トラベルビー) ・援助へのニード(ウィーデンバック) ・文化ケア理論(レイニンガー) ・保護膜モデル(阿保順子) ・ストレングスモデル ・バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ・リカバリー	<p>・統合失調症の当事者が書いた書籍(漫画)を読んで、対象理解を深める。(共感・感動、対象の世界のイメージをもつ。)</p> <p>・看護学概論で学習した看護理論は、復習する。</p> <p>・事前配布資料とテキストを読む。</p> <p>復習:精神看護に必要なアセスメントの視点を復習する。</p>	
3	精神障害をもつ看護過程の展開 1) 事例の提示(課題情報の提示) 事例をイメージできるよう、ロールプレイで演示 2) 情報の解釈・分析 → ワークシートを用いたグループワーク	準備:提示された事例(課題文)をよく読み、ワークシートに記入する。(月 日提出)	
4	3) 看護上の課題 4) 看護計画	復習:ワークシートを用いたグループワークを振り返り、看護上の課題、看護計画を立案	
5	5) 看護の展開 *ストレングスモデルを活用した演習シミュレーション ・幻覚や妄想への対応 ・会話が成立しにくい場合の対応 ・服薬のサポート	準備: ・看護過程展開事例の全体像をよく理解した上で参加する。 ・事前課題で提示された対応について、テキストで学習する。	
6	・便秘(イレウスにならないための) …全身を診ることの重要性 ・退院の不安への対応	復習:シミュレーションで体験した対応の学びと臨地実習に向けた課題レポート提出	
7	まとめ・試験		
履修要件	精神看護学概論、精神看護学援助論を履修していること		

評価方法	筆記試験、看護過程課題
テキスト	医学書院 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 精神看護学[2] 精神看護の展開
参考文献	メジカルフレンド社 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メディックメディア こころの健康がみえる
履修上の 留意事項	グループワーク・演習は積極的な姿勢で臨むこと 提出物は、期日・日時を厳守すること
備考	本科目の受講前に、精神看護学概論、精神看護学援助論の授業を復習する。 精神障がいをもつ対象と家族を理解するために、「ビューティフル・マインド」「路上のソリスト」 「カッコウの巣の上で」「17歳のカルテ」「普通の人々」を視聴する。